

【小学校の部】優秀賞

ゴミの現状を知っている？

中津市立小楠小学校 6年
石原 世菜



みなさんは、海や海辺のゴミの現状を知っていますか。

私は4年生のときに中津干潟観察に行きました。干潟観察をしているとき、海辺にお店の旗や冷蔵庫、洗濯機など、たくさんの大きなゴミが放置されていることに気がつきました。また、プラスチックやたばこの吸い殻など小さなゴミもたくさん落ちていました。その多さにとても驚き「どうにかならないのかな。」と思いました。干潟を案内してくださる「水辺に遊ぶ会」の方から、最近カブトガニが減っていること、日本や世界全体の海の生き物が減少傾向にあることを聞きました。それはゴミのせいだなと思いました。私は、「このままだと美味しい魚が食べられなくなってしまうのかな。魚が生きづらくなっていくのかな。」と思い悲しくなりました。

私は家族とよく釣りに行きます。その時に海辺に目を向けてみると、中津干潟で拾ったゴミ以上に、ペットボトル、発泡スチロール、釣り糸、釣り針、たばこの吸い殻などたくさんのゴミが落ちていました。その原因の一つと考えられるのが、簡単にポイ捨てをする人がいることだと思います。ポイ捨てをする人を減らしたり、海辺のゴミを減らしたりするために私ができることはなんだろうと考え、次のことを提案します。

(1) 人に伝える

まずは、同じ小学校の仲間到现在の中津干潟の現状を伝えます。そして、ゴミのポイ捨てはいけないことであり、恥ずかしいことであると自分たち子どもから周りの人に発信していきます。これまでも、干潟にゴミを捨てないように呼びかけるポスターをつくって、お店にはってもらいました。今後は、プレゼンをつくって地域や家族に伝えていきたいです。

(2) しっかりとゴミの分別をする

少しでもゴミを減らすために、まずは自分たちからしっかりとゴミの分別ができるように勉強します。そして勉強したことを、自分の家族から実践してゴミを減らしていきたいです。中津市は最近新しい分別方法に変わりました。分別の種類を家族でしっかり確認して、ゴミが少しでも減るように分別していきたいです。

大切なのは、自分が変わり、周りに伝えていくことです。「自分たちのふるさと自分たちが創り、守っていく」その思いを地域に発信していきたいです。